

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：北海道で生産されるイチゴ空中採苗未発根苗の利用法 2．生育・収量特性			
[要約] 養生苗は約1か月間育苗し10月上旬までに定植すると、12月までの初期収量は劣るが、それ以降の収量はポット育苗の慣行苗とほぼ同等に得られる。育苗期間中の施肥の有無は収量にほとんど影響を及ぼさないが、花芽分化していれば早く定植するほど初期収量及び総収量がやや増加する。			
キーワード（専門区分） 栽培 （研究対象） 野菜類 - イチゴ （フリーワード） イチゴ 未発根苗 定植時期 北海道			
実施機関名 （主査） 農業総合研究センター暖地園芸研究所野菜・メロン研究室 （協力機関） イチゴリレー苗プロジェクトチーム （実施期間） 2001年度～2003年度			

[目的及び背景] 本県の促成栽培では、春から育苗を開始し、9月中旬に定植するが、苗不足が生じた場合には、安価な空中採苗未発根苗を養生して、苗数を確保することも可能である。そこで、養生した苗を定植した場合の生育、収量特性を検討する。

[成果内容]

- 1．定植時期が遅れるほど、定植時の花芽分化は進むものの開花が遅れ、着果数が減少し、初期収量は低下する。しかし、10月上旬までに定植すれば、総収量では大差ない。また、育苗開始時の苗の大きさは大苗で開花がやや早くなるが、総収量ではほとんど差がない（表1、図1）。
- 2．育苗期間中の施肥は開花がやや遅れるが、着果数はやや多くなる。しかし、初期収量及び総収量では差がない（表2、図2）。
- 3．育苗期間を短縮して定植時期を早くすると、開花はやや早まり、着果数も増加する。その結果、初期収量及び総収量がやや多くなる（表3、図3）。

[留意事項]

- 1．花芽分化は9月の気象条件に大きく左右されるため、定植時期が早い場合ほど分化状況を確認し、定植可能な時期を決める。
- 2．この方法は短期育苗のため、苗はあまり大きくならないので、育苗には25穴連結ポット程度の大きさ（容量）のものを用いる。
- 3．育苗期間を短縮して定植すると、根量が少なくなるため、活着までは寒冷紗被覆、こまめなかん水等の管理に努める。
- 4．育苗期間はポットに挿す前の苗の発根程度によりやや長くなる場合がある。
- 5．北海道からの導入苗だけでなく、自家採苗したものにも適用できる。

[普及対象地域] 県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 定植時期及び苗の大きさが頂花房の
開花及び着果に及ぼす影響(2001年)

定植日	苗の大きさ	花芽分化指数	頂花房開花日		頂花房着果数
			50%	80%	
9/20	大苗	0.7	11/20	11/22	17.9
	小苗	1.0	11/20	11/29	18.5
10/1	大苗	1.5	11/13	12/2	13.6
	小苗	1.3	11/28	12/5	14.8
10/23	大苗	4.8	12/2	12/6	7.2
	小苗	5.6	12/7	12/12	6.3
9/20対照区		3.3	11/1	11/5	19.8

注：9/20対照区は、慣行ポット育苗の苗
大苗は2～3葉、小苗は2葉未満

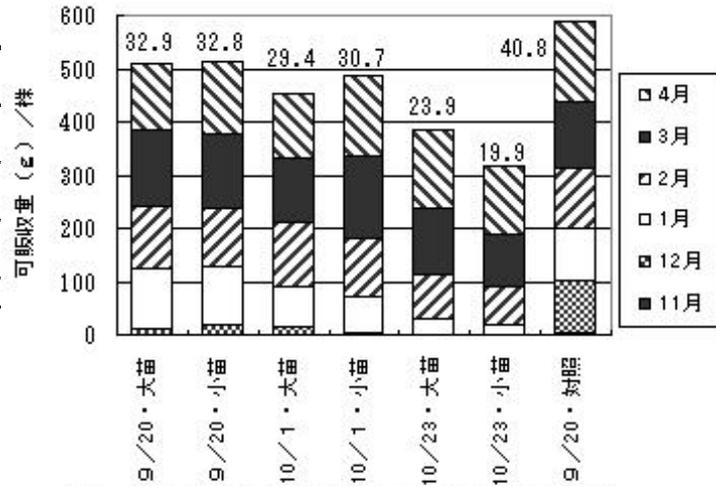


図1 定植時期及び苗の大きさが収量に及ぼす影響
注：グラフ中の数値は可販果数を示す

表2 育苗中の施肥及び苗の大きさが頂花房
の開花及び着果に及ぼす影響(2002年)

施肥	苗の大きさ	花芽分化指数	頂花房開花日		頂花房着果数
			50%	80%	
施肥	大苗	4.5	11/12	11/29	14.2
	小苗	1.2	12/1	12/21	14.9
無施肥	大苗	3.9	11/11	11/20	12.6
	小苗	2.6	12/1	12/15	13.1
対照・ポット苗		1.3	11/7	11/14	15.3

注：定植日は9/30(育苗開始は9/2)
対照の定植日は9/17
施肥区は育苗開始15、22日後の2回、
合計40mg-N/株を施用した。
大苗は4～5葉、小苗は3葉

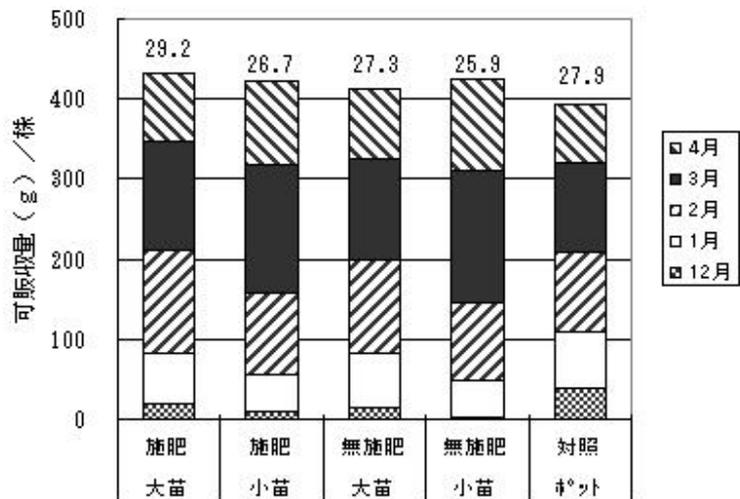


図2 育苗中の施肥及び苗の大きさが収量に及ぼす影響
注：グラフ中の数値は可販果数を示す

表3 定植日(育苗期間)が花芽分化、頂花房
の開花及び着果に及ぼす影響(2002年)

定植日	花芽分化指数	頂花房開花日		頂花房着果数
		50%	80%	
9/24	3.6	11/8	11/25	17.2
9/30	4.5	11/12	11/29	14.2

注：定植日9/24は育苗期間22日間
同 9/30は 同 28日間

表中の花芽分化指数は、
以下のように指数化し計算した

- 未分化 : 0
- 分化初期 : 1
- 分化期 : 2
- 花房分化期 : 3
- がく片形成初期 : 4
- がく片形成期 : 5
- 雌ずい形成期 : 6

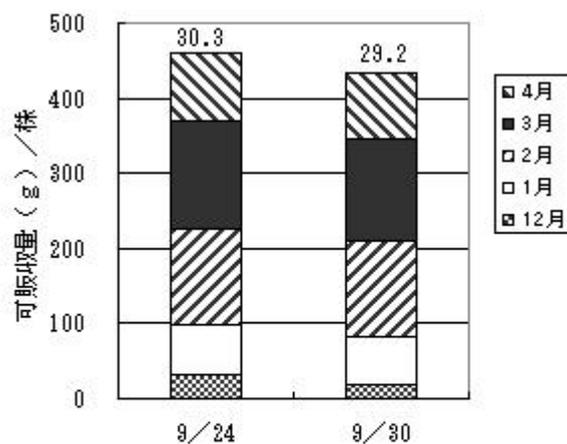


図3 定植時期(育苗期間)が
収量に及ぼす影響

注：グラフ中の数値は可販果数を示す

[発表及び関連文献]